



**小学校 4・5・6 年生による組体操
(太地大運動会)**

平成 23 年度 太地町の決算.....	2
平成 23 年度 主要施策の成果.....	4
議会報告.....	10
トピックス.....	11
花火大会収支決算報告.....	12
お知らせ.....	13
姉妹都市ブルームコーナー.....	14
住民福祉課便り.....	16
くじらの博物館便り.....	18
保健衛生関係予定.....	20

平成23年度・太地町の決算



捕鯨船陸揚げ



新水源地確保

太地町の平成23年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）決算がこの程まとなり9月に開かれた定例議会で認定されました。一般・特別会計を合わせた決算額は、歳入が37億1,978万円、歳出が34億6,417万7千円となりました。限られた予算を有効に活用し、町民の皆様の生活向上につなげる努力は、今後も続けていきたいと思っております。

平成23年度 会計別決算状況

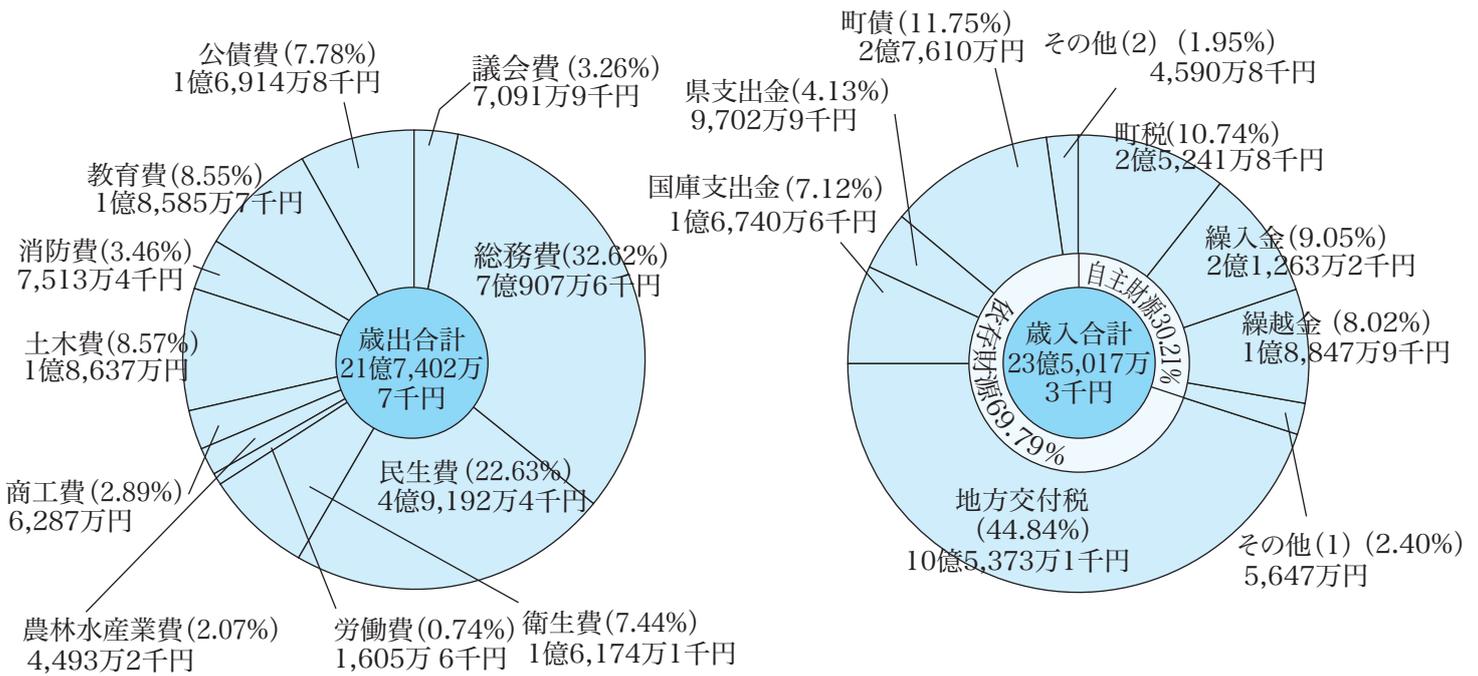
会計別	歳入	歳出	差引
一般会計	23億5,017万3千円	21億7,402万7千円	1億7,614万6千円
国民健康保険事業	5億6,248万8千円	5億3,667万2千円	2,581万6千円
公共下水道事業	6,913万8千円	6,608万7千円	305万1千円
くじらの博物館事業	3億3,760万2千円	2億7,559万円	6,201万2千円
水洗便所貸付事業	73万円	73万円	0円
介護保険事業	2億9,126万3千円	3億465万8千円	△1,339万5千円
後期高齢者医療事業	1億838万6千円	1億641万4千円	197万2千円

企業会計

水道事業	7,376万7千円	7,620万3千円	△402万8千円
国民宿舎事業	1億119万1千円	1億1,551万4千円	△1,433万9千円

※企業会計の歳入歳出差し引き額の相違は消費税分です。

一般会計

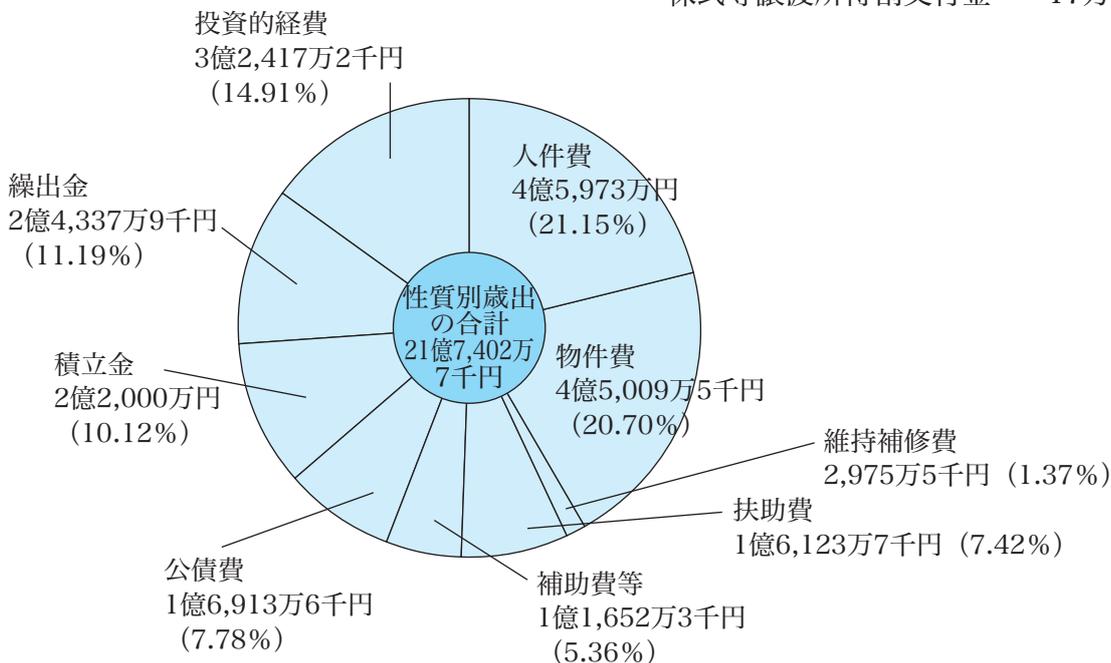


《グラフの解説》

歳入を調達方法の面からみると、自主財源と依存財源の二つに分類されます。

自主財源とは町が自ら徴収または収納できる財源で当町の場合、歳入の約30%を占めています。また、依存財源とは国や県から交付されるものや借入金などで、歳入の約70%を占めています。

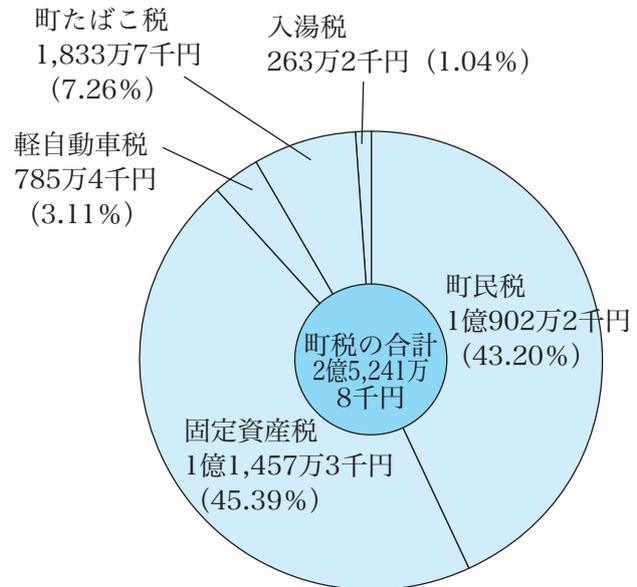
その他(1)の内訳	
分担金及び負担金	808万7千円(0.34%)
使用料及び手数料	1,625万7千円(0.69%)
財産収入	174万3千円(0.08%)
寄附金	355万8千円(0.15%)
諸収入	2,682万5千円(1.14%)
その他(2)の内訳	
地方譲与税	1,172万1千円(0.49%)
利子割交付金	146万2千円(0.06%)
地方消費税交付金	2,444万1千円(1.04%)
自動車取得税交付金	275万円(0.12%)
地方特例交付金	451万1千円(0.19%)
配当割交付金	84万8千円(0.04%)
株式等譲渡所得割交付金	17万5千円(0.01%)



各項目の町税を住民基本台帳による人口で町民1人当りに換算すると、下記ようになります。

※住民基本台帳 人口 3,406人
(平成24年3月末現在)

町民税	32,009円
固定資産税	33,639円
軽自動車税	2,306円
町たばこ税	5,384円
入湯税	773円
合計	74,877円



平成23年度 主要施策の成果

総務関係

町営じゅんかんバス運行事業、夏山地区タクシー券交付事業を引き続き実施した。また、防犯対策の充実を図るため、町内の通学路を中心に54基のLED防犯灯を設置した。また、庁舎屋上の笠木防水工事を行った。

企画関係では、森浦湾鯨の海構想実施計画検討業務報告書の作成により将来構想図の具現化を図る。国際交流の更なる活性化に寄与するため、町国際交流協会に対し助成をするとともに、町内中学生を姉妹都市オーストラリア・ブルームへの派遣を行った。

旧グリーンピア南紀跡地の利活用について、維持管理に努め、園地、球技場等を一般に開放するとともに、太陽寮を整備し警察官の宿舎として有効に活用した。そのほか、鯨文化保存のため捕鯨船更新事業を昨年に引き続き実施し、本年度において捕鯨船の陸揚げを実施した。

戸籍住民基本台帳関係では、外国人住民基本台帳への移行に伴う住基システム改修に着手した。

財政関係では、財政の健全な運営に資するために財政調整基金、減債基金への積立を行った。また、税の滞納圧縮のため、延滞金の徴収及び滞納処分を注ぎ、和歌山地方税回収機構を有効活用した。今後においても滞納税の早期完納を目指し、努力を重ねたい。

(単位：千円)

事業	金額	備考
町営じゅんかんバス運行事業	13,636	
夏山地区タクシー券交付事業	360	
国際交流協会助成金	100	
旧グリーンピア南紀維持管理関係	17,915	賃金他
旧グリーンピア南紀太陽寮整備	8,853	ガス、上水道工事他
森浦湾鯨の海構想計画検討業務委託	2,500	
庁舎笠木防水工事	2,524	
役場駐車場フェンス改修工事	1,050	
防犯灯LED照明取替工事	884	町内(54基)
捕鯨船展示場整備工事	119,520	
住基システム改修事業	22,491	
基金積立事業	220,000	財政調整基金、減債基金

民生関係

住民の福祉、健康の向上のため、健康づくり体制の充実、医療の充実を図った。

少子高齢化が進む中で、健やかな児童の成長と青少年の健全育成を願い各施策を実施した。

高齢者が安心して暮らせる健康づくり、居宅サービスと高齢者の生活を支える地域ケア事業を実施した。また、各種医療扶助を行うとともに国保加入者における予防事業として特定健診・特定保健指導事業、脳ドック事業を実施した。

介護予防事業では地域に即した支援を図ることを目的に高齢者トレーニング事業、高齢者の自主的な介護予防への取組支援、また、配食サービス事業、介護用品給付事業等、高齢者の生活支援事業の充実を図った。

地域支え合い事業では、集会所の備品等の充実を図り、また、要援護者のマップづくり等を実施した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
社会福祉費	74,454	国民健康保険事業会計への繰出金
	4,335	地域ケア事業委託料
	1,201	地域支え合い連携体制構築事業
老人福祉費	1,000	生活管理指導員派遣事業委託料（介護保険事業）
	1,176	理学療法士派遣事業
	868	配食サービス委託料（介護保険事業）
	264	介護用品給付事業費（介護保険事業）
	25,868	老人福祉施設入所措置費
	180	老人医療費
	1,116	緊急通報業務委託料
	5,013	南紀園分担金
	522	老人クラブ助成金他
	46,241	介護保険事業会計への繰出金
	68,641	後期高齢者医療事業会計への繰出金
児童福祉費	88,088	保育所運営、子ども手当他
乳幼児医療対策費	2,737	乳幼児医療費他
ひとり親福祉費	5,173	医療費、ひとり親家庭高校生就学援助費他
障害者（児）福祉費	19,159	医療費、福祉手当他
	63,496	障害福祉サービス費等
	1,874	障害のある人の働く応援事業

衛生関係

「健康でありたいと願うまちづくり」を進める中で住民の健康の保持増進を図り、疾病や感染症の予防のため、各種検診、予防接種等を実施した。今年度は、新たにヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン接種費用補助を行った。

清掃センターの運営、維持管理を行い、施設内においては固形燃料施設の安全管理、また、各設備の補修、補完を行った。また、環境衛生施設一部事務組合の運営に要する経費の負担や、浄化槽設置費補助を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
保健衛生関係	13,724	予防費、母子対策費、健康増進費
	82,890	清掃センター運営費等
	1,660	浄化槽設置費補助金
	22,819	環境衛生施設一部事務組合負担金

労働関係

離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供を目的に事業を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
労働諸費	16,675	緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業

農林水産業関係

農林業、漁業の振興活性化を図るため各団体への助成事業を行った。今年度水産総務費として、新たに太地漁港内に公衆便所を建築した。

漁業振興費としては、毎年行われているカサゴ・ヒラメの稚魚放流事業を今年度も実施した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
農業振興費	21	県土地改良事業団体連合会負担金
	45	水稻実行組合助成金
	45	果樹研究会助成金
花畑等整備事業費	634	県道花壇の整備
鳥獣被害防止事業費	3,120	鳥獣防除ネット等資材費補助金
林業振興費	287	松食い虫薬剤散布駆除委託料
	987	紀州材ベンチ作製
ふれあいの森管理費	128	ふれあいの森管理費
水産総務費	8,398	太地漁港施設内公衆便所新築工事（建築）
	832	太地漁港施設内公衆便所新築工事（電気）
	4,607	太地漁港施設内公衆便所新築工事（機械）
	99	水質（海水）検査委託料
漁業振興費	500	カサゴ・ヒラメ稚魚放流事業
	150	緑のボランティア助成金
	2,000	稚貝稚魚放流事業助成金
	538	漁場放流・漂着物対策促進事業助成金
捕鯨対策費	5,824	IWC 捕鯨全面禁止絶対反対太地町連絡協議会助成金他

商工関係

南紀くろしお商工会への助成、公設市場負担金の支出等、商業の振興に努めた。
観光協議会の観光キャンペーン、イベントに参加し、観光客誘客に努め、毎年度実施している盆供養花火大会に助成を行った。また、昨年度に引き続き、海水浴場内において「くじらに出会える海水浴場」と題し鯨類ふれあい事業を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
商工総務費	3,800	南紀くろしお商工会助成金
	421	公設市場負担金
観光費（工事請負）	447	くじら浜海水浴場整備工事
	2,842	太地漁港公衆便所改修工事（建築）
	3,374	太地漁港公衆便所改修工事（設備）
	797	太地駅公衆便所塗装工事
	630	たかばべ、はたけじり遊歩道立入防護柵工事
	1,145	観光案内板設置工事
観光費	2,123	海水浴場ふれあい事業費 鯨類借上料他
	5,550	吉野熊野国立公園熊野地域美化清掃協会分担金
	500	熊野古道キャンペーン推進連絡会分担金
	500	花火大会助成金

土木関係

生活環境基盤の整備を図るため、側溝改修、排水路整備工事をはじめ、広場整備事業、災害時等における避難路の整備事業を実施することにより安心かつ安全に避難することのできる環境整備を図った。また、住宅管理費として、上野公営住宅の改修工事と、老朽化の進む森浦公営住宅の屋根張替塗装工事を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
道路改良費	5,565	暖海中央1号線側溝改修工事
	4,326	暖海中央2号線側溝改修工事
	861	妙見山避難場所入口整備工事
	2,079	森浦三軒家線側溝改修工事
	7,671	燈明梶取崎線側溝改修工事
	6,129	南暖海1号線側溝改修工事
急傾斜地保全事業	3,210	急傾斜地崩壊対策事業負担金
住宅管理費	2,977	上野公営住宅改修工事（8号室）
	2,356	上野公営住宅改修工事（7号室）
	1,229	森浦公営住宅屋根塗装工事
	405	森浦公営住宅屋根張替工事
都市計画費	689	太地公園遊具改修工事

消防関係

災害に強いまちづくりへの取組み及び東南海・南海地震発生による津波襲来に備え、備蓄品の確保に努めると共に、住民に対して応急処置、AED 取扱い等の講習会を開催した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
災害対策費	722	備蓄品購入費

教育関係

本町の教育方針は、「学力及び体力の向上」、「子どもたちが健康であること」、「人を思いやる心を育てる」を三つの柱とし、併せて情操教育、人権・道徳教育並びに、町の歴史、文化、伝統などを学ぶことに取り組み、学校づくりに努めた。

学校教育では、学習指導方法の工夫改善し、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行った。

教育委員会事業では、平成 18 年度より和歌山県子どもの安全対策事業として、通学路セーフティネットの日は設けられ、小学校教員、保護者、安全ボランティアの協力により実施した。

小児生活習慣病予防対策事業は、学童と保護者の生活習慣病の実態を明らかにし、生活習慣病の影響を把握するとともに、今後健康的に大人に成長するために親子で検診の予防事業を実施した。

虫歯等をなくし、口腔ケアを行うことを目的に、小学 1 年生への歯科治療補助を実施した。

食事のマナー習得のため、中学 3 年生を対象にテーブルマナー習得講習会を実施した。

教育委員会工事について、小学校では児童用便所改修工事、体育館屋上改修工事を、中学校では教室電灯取替工事、教室及び空調設備整備工事を、公民館では公民館大集会室照明改修工事を行った。

石垣記念館では、昨年引き続き近隣の画家による絵画作品展を開催し、入館者の増加を図るよう努めた。又、ブルームと太地の交流の歴史を振り返る企画展、南紀州から移民した人々の歴史をテーマにした企画展を開催した。

社会教育では、あらゆる活動を生涯教育と位置づけ、町民一人ひとりが生きがいのある日々を送れるよう計画し取り組んだ。また、小学校 5・6 年生を対象に、地域の各団体の協力を得て「いさな通学合宿」を開催し、地域ぐるみの教育力を生かした児童の健全育成事業を行った。

青少年健全育成事業として、特に夏休み中に地域のボランティア、警察等の協力のもと夜間パトロールを実施し、指導を行った。

また、児童を対象にした、「友遊クラブ」は遊びを通じ、大人と子どもが地域の住民や自然とのふれあい出来るよう努めた。

保健体育では、市町村対抗ジュニア駅伝競走、町駅伝大会、グランドゴルフなど各種事業を行い、各種団体活動への助成を行った。また、文化財関係では、敷地や環境保護の整備に努めた。

(単位：千円)

事業	金額	備考
教育総務費	1,699	学校教育指導主事共同設置負担金
	1,754	青少年センター分担金
	2,989	英語教育推進事業
	40	児童生徒虫歯治療費

(単位：千円)

事業	金額	備考
小学校費	926	校舎校具等維持修理費
	1,456	教材備品、一般備品、図書、給食備品
	879	姉妹都市白馬村児童派遣費補助金
	1,039	就学援助費
	10,726	児童用便所改修工事、体育館屋上改修工事
	423	小児生活習慣病予防対策事業費
中学校費	1,470	校舎校具等修理費
	1,139	教材備品、一般備品、図書、給食備品
	564	生徒派遣費補助金
	885	就学援助費
	269	テーブルマナー習得講習会時費用
	134	小児生活習慣病予防対策事業費
	5,080	教室電灯取替工事、教室及び保健室空調設備整備工事
幼稚園費	1,842	園舎教具等修理費
	429	備品購入費
社会教育総務費	735	カレンダー印刷製本費
	147	いさな通学合宿事業
公民館費	360	文化講演会講師謝金
	173	修繕費
	167	備品購入費
	2,788	公民館大集会室照明改修工事
文化財保護費	200	太地町民芸保存会助成金
青少年健全育成費	229	青少年健全育成費
石垣記念館費	83	絵画展示会費
保健体育総務費	545	ジュニア駅伝参加費
	266	町駅伝大会費用



議会報告

平成24年第3回太地町議会定例会

平成24年第3回太地町議会定例会が、9月13日に開会しました。

今定例会には町長から、人事案件4件、報告2件、補正予算5件、決算認定9件が提出され、原案のとおり可決、承認、認定されました。

議員から意見書1件が提出され、可決されました。

一般質問では、11件の質問が行なわれ、町政一般について町の考えを問われました。

◎太地町固定資産評価審査委員会委員の選任

- ※岡 本 宗 明 氏
- ※森 本 和 成 氏

◎太地町教育委員会委員の任命

- ※藤 本 淨 氏
- ※下 向 純 子 氏

◎報 告

- ※健全化判断比率の報告
- ※公営企業会計に係る資金不足比率の報告

◎補正予算

- ※平成24年度太地町一般会計補正予算(第2号)
- ※平成24年度特別会計太地町国民健康保険事業補正予算(第1号)
- ※平成24年度特別会計太地町介護保険事業補正予算(第3号)

- ※平成24年度特別会計太地町後期高齢者医療事業補正予算(第1号)
- ※平成24年度特別会計太地町くじらの博物館事業補正予算(第2号)

◎決算の認定

- ※平成23年度太地町一般会計歳入歳出決算
- ※平成23年度特別会計太地町国民健康保険事業歳入歳出決算
- ※平成23年度特別会計太地町介護保険事業歳入歳出決算
- ※平成23年度特別会計太地町後期高齢者医療事業歳入歳出決算
- ※平成23年度特別会計太地町都市計画公共下水道事業歳入歳出決算
- ※平成23年度特別会計太地町水洗便所貸付事業歳入歳出決算
- ※平成23年度特別会計太地町くじらの博物館事業歳入歳出決算
- ※平成23年度企業会計太地町水道事業会計決算
- ※平成23年度企業会計太地町国民宿舍事業会計決算

◎議員派遣の件

◎意見書

- ※近畿自動車道紀勢線「すさみく太地間」の早期事業着手を求める意見書

◎一般質問

- ※白鯨の運営について
- ①指定管理等進捗状況について
- ②今後の運営の考え方について

- ※くじらの博物館の運営について
- ①悪化する運営に当局はどう考えているのか
- ②今後の諸施策について

- ※森浦湾鯨の海構想について
- ①海面使用についての漁協への依頼について

- ②今は津波等災害対策が優先されるべきではないか

- ※庁舎の移転について

- ①津波等災害に備え、庁舎の移転の計画は

- ※太地町の工事について
- ①工期について

- ※太地町の防災について
- ①防災計画について

- ※中学校の行事について
- ①修学旅行について

- ※太地町の計画について
- ①くじらの海構想について



和歌山県行政報告会が行われました！

平成 24 年 10 月 13 日（土）、公民館で仁坂吉伸和歌山県知事による和歌山県行政報告会が行われました。

知事からは、紀伊半島大水害における災害復興施策の進捗状況や県が行う各種分野の重点施策の説明があり、町民の方々と直接の意見交換や質問の場が設けられました。

会場では、約 350 人の町民の方々が知事の報告を熱心に聞いていました。



いつまでもお元気で！

平成 24 年 9 月 27 日（木）、町内在住の男性の最高齢で 97 歳になられた田中美雄さん、女性の最高齢で 105 歳になられた細野さゝるさんの 2 人のお宅を町長が訪問しました。

町長はこの 2 名の方々に対して長寿の祝福とお祝いを贈りました。



太地町固定資産評価審査委員並びに太地町教育委員辞令交付式を行いました

この度、太地町固定資産評価審査委員に岡本宗明氏と森本和成氏が選任されました。また、太地町教育委員には藤本浄氏と下向純子氏が再任されました。

平成 24 年 10 月 1 日（月）、この 4 名の方々に町長から辞令を交付いたしました。



平成24年度盆供養花火大会収支決算書

平成24年度盆供養花火大会が、8月19日無事開催されました。町民各位のご高配とご支援により、無事挙行できましたことに謹んでお礼申し上げます。

遅くなりましたが、次のとおり収支決算をご報告いたしますので、ご一覽下さい。今後とも、よろしくご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

収入の部

1. 寄付金及び補助金	5,256,600円	特別協賛 3,488,000円 町内一般協賛 1,223,600円 町助成金 500,000円 追善供養 45,000円
2. 繰越金	532,037円	平成23年度繰越金
3. 利息	205円	預金利息
合計	5,788,842円	

支出の部

科目	金額	摘要
1. 事業費	4,890,000円	花火代金 紀州煙火 和田煙火店
2. 賃金	134,200円	海上警備・臨時マイクロバス・駐車場警備
3. 需用費	109,612円	消耗品費、食糧費、プログラム印刷費
4. 役員費	51,240円	口座振替手数料、郵便料・傷害保険
5. 委託費	33,000円	スピーカ設置
合計	5,218,052円	

収入支出差引金額 翌年度 繰越金 570,790円

太地町花火大会実行委員会
委員長 藤木 一史

お知らせ

太地いきいき情報コーナー

労働保険適用促進強化月間
11月1日～11月30日
「1人でも雇ったら、入ろう。労働保険」

労働保険は、農林水産業の一部を除き、労働者（パート・アルバイト等を含む）を1人でも使用している事業主は、すべて加入が義務付けられており、成立手続を行わなければなりません。

* 労災保険とは、労働者が業務上の事由または通勤によって負傷したり、病気に見舞われたり、不幸にも死亡された場合に、被災労働者や遺族の生活を保護するため必要な保険給付を行うものです。

* 雇用保険とは、労働者が失業した場合及び労働者について雇用の継続が困難となる事由が生じた場合に、労働者の生活及び雇用の安

定を図るとともに、再就職を促進するため必要な給付を行うものです。

加入手続などの詳細は、新宮労働基準監督署（22-5295）、ハローワーク（公共職業安定所 22-6285）にお問い合わせください。

平成24年度自衛官等募集案内

- ◇ 高等工科学校生徒（特別国家公務員）
- 3年間の学費無し
- 生徒手当 月額9万4千円
- 期末手当 年2回
- ◎ 受験資格 15歳以上17歳未満の男子（教育及び卒業資格）
- ◎ 受付期間
- ・ 推薦採用 平成24年11月1日（木）～12月7日（金）
- ・ 一般採用 平成24年11月1日（木）～平成25年1月7日（月）
- ◎ 試験期日及び試験会場
- ・ 推薦採用 1次 平成25年1月12日（土）～14日（月）（いずれか1日）
- ・ 高等工科学校（神奈川県）
- ・ 一般採用 1次 平成25年1月19日（土）
- 田辺市

- ・ 2次試験 平成25年2月2日（土）～5日（火）
- 信太山駐屯地（大阪府）（いずれか1日）
- ◇ 陸・海・空 自衛官候補生
- 18歳以上27歳未満の男女
- 受付期間（年中受付）
- ◇ お問い合わせ
- 自衛隊新宮地域事務所
- Tel 0735-21-3449

和歌山大学 平成25年度学生募集

- ◇ 教育学部 学校教育教員養成課程、総合教育課程
- ◇ 経済学部 経済学科、ビジネスマネジメント学科、市場環境学科
- ◇ システム工学部 情報通信システム学科、光メカトロニクス学科、精密物質学科、環境システム学科、デザイン情報学科
- ◇ 観光学部 観光経営学科、地域再生学科
- ※ 入試日程などはホームページを参照 (<http://www.wakayama-u.ac.jp/>) または入試課（073-457-7116）までお問い合わせください。

平成24年度 各種講習日程表（12月～3月）

建設業労働災害防止協会 和歌山県支部 Tel(073)436-1327 Fax(073)426-3987
講習場所 和歌山県建設会 3F 会議室

講習の名称	日時	受講料等	受開始付日
地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	12月5日（水）～ 12月7日（金）	¥17,200	11月5日（月）～
足場の組立て等作業主任者	12月11日（火）～ 12月12日（水）	¥10,000	11月12日（月）～
型枠支保工の組立て等作業主任者	1月22日（火）～ 1月23日（水）	¥10,300	12月25日（火）～
職長・安全衛生責任者教育（リスクアセスメント含む）	2月5日（火）～ 2月6日（水）	¥12,500	1月7日（月）～
鋼橋架設等作業主任者	2月19日（火）～ 2月20日（水）	¥10,200	1月21日（月）～
コンクリート造の工作物の解体等作業主任者	3月5日（火）～ 3月6日（水）	¥10,500	2月4日（月）～
足場の組立て等作業主任者	3月12日（火）～ 3月13日（水）	¥10,000	2月12日（火）～

2012
Version!!

We Love Broome!! ～姉妹都市ブルームのコーナー～

今月から、今年 2012 年にブルームを訪問した生徒たちの作文をご紹介します。今回の訪問は 7 月 30 日から 8 月 8 日までの 10 日間で、そのうち 8 月 1 日から 8 月 5 日までブルームに滞在しました。生徒たちは週末をホストファミリーと過ごしたことで、より交流を深めることができましたようです。

これから紹介する榎本くんは、ジョンソンファミリーのお家にホームステイしました。ホストブラザーのヘイデンくんとはとても仲良くなり、彼との会話が英語を話す自信につながったようです。

英語力と人々の親切さ

太地中学校 3 年 榎本 紀弘

僕は、ブルームに行って、英語や文化の違いを学んできました。

僕はブルームに着いた時、なかなか英語で喋れませんでした。なぜなら僕は緊張していたからです。喋れないまま昼食を食べていると、畑さんと長尾さんから

「積極的に喋らなコミュニケーション取れんで。」

と言われたので、僕はそれから積極的に喋りました。だけどブルームの人達は、発音が良すぎるし、喋るスピードも速かったので全然聞きとれなかったです。昼食を食べ終わってから、ジョンソンファミリーの家に行き、母と父と妹であいさつをかわしました。それから、お菓子和ジュースをいただきました。お菓子を食べてらすごく甘かったです。日本のお菓子はあまり甘くないのに、外国のお菓子はすごく甘いことを知りました。

夜、町役場歓迎会に行きました。そこでカンガルーの肉を食べました。カンガルーの肉は最初臭いと思っていたけど臭いにおいはしなかったです。カンガルーの肉はやわらかくておいしかったです。その後、ブルームの生徒達がダンスを見せてくれました。とても盛り上がりました。僕らも負けじとダンスを披露しました。とても盛り上がりました。それから昼話していなかった生徒達とたくさん話をして友達になりました。日本ではあまり巻けないヘビを首に巻きました。最初怖かったけど良い経験になったから良かったです。

次の日は、集会で自己紹介してから授業を受けました。生徒達は授業を受けているのにガムをかんでいたり、席を立ったりしていました。日本では怒られるのにブルームで

は当たり前なのだなということが分かりました。

日本人共同墓地では、太地代表として拝ませていただきました。500以上もの墓地がありました。その中には壊されている墓地もありました。僕はくやしかったです。なんで墓地をこんなめにするのだと。その後太地のお墓にロウソクを置いて拝ませていただきました。太地の人々のお墓で拝めるということは本当に良い経験になったと思います。

パール・ラガーズ・ツアーでは、当時使われていた潜水するための道具を見たり、いろいろ作っていたことを学びました。

ラクダ体験では、最初乗るのが怖かったけど、いざ乗ってみると、すごく高くて楽しかったです。夕方見た夕日は生まれて初めて見た美しい夕日でした。

休みの日は、ホストファミリーにいろいろな場所へ連れて行ってもらいました。本当に親切な家族でした。

ホストブラザーのヘイデン君は、がんばって日本語を覚えようとしてくれていました。僕も英語を勉強して、もっと喋れるようになりたいと思いました。

ブルームに行って、僕は最初英語があまり理解できませんでした。しかし3日目ぐらいからすごく理解できるようになりました。理解できた時はすごくうれしかったです。

僕はこれを機に、英語を勉強しようと思いました。

左下：ヘイデンさんと釣りを楽しむ榎本くん

右下：図書館にて（右端が榎本くん、左下が長谷若奈さん）



次回は太地中学校の生徒の感想文を掲載します。

Good-bye till next month...



住民福祉課便り

障害者虐待防止法が施行されました (平成24年10月施行)

障害者虐待とは？

- 障害者虐待の種類
 - ・ 養護者による虐待
 - ・ 障害者の生活の世話や金銭の管理などを行っている家族や親族、同居人による虐待
- 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待
 - ・ 障害者福祉施設や障害福祉サービス事業所で働いている職員による虐待
- 使用者による障害者虐待
 - ・ 障害者を雇用している事業主などによる虐待

障害者虐待防止法では、障害者虐待に気づいた方の通報義務が既定されています。虐待に気づいたらすみやかに

「太地町障害者虐待防止センター」に通報を！

太地町障害者虐待防止センター

☎ 59-2335 (太地町役場住民福祉課)

障害者虐待の例

- 身体的虐待
 - ・ 暴力や体罰で傷や痛みを与える行為
 - ・ 過剰な投薬、不当な身体拘束
- 心理的虐待
 - ・ 侮辱する言葉を浴びせる
 - ・ 怒鳴る、ののしる、悪口を言う
- 性的虐待
 - ・ わいせつな行為をする、させる
 - ・ わいせつな言葉を使う
- 経済的虐待
 - ・ 年金や賃金の搾取
 - ・ 同意のない財産運用や処分
 - ・ 日常生活に必要な金銭を渡さない、使わせない
- 放棄・放任 (ネグレクト)
 - ・ 食事や排泄、入浴などの世話や介助をしない
 - ・ 仲間に入れない、意図的に無視する
 - ・ 必要なサービスや医療や教育を受けさせない

全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間を実施します

【期間】 11月12日(月)から11月18日(日)までの7日間

【時間】 午前8時30分から午後7時まで (※ただし土・日曜日は午前10時から午後5時まで)

【場所】 和歌山地方法務局内人権相談室 【電話番号】 0570-070-810 (全国共通ナビダイヤル)

【相談内容】 夫やパートナーからの暴力、ストーカーなどの女性をめぐる各種の人権相談。相談は無料で、
秘密は厳守されます。法務局職員または人権擁護委員が相談に応じますので、お気軽にご相談ください。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください

(和歌山地方法務局人権擁護課内) 和歌山県人権擁護委員連合会 (☎ 073-422-5131)

紀南法律相談センター・串本法律相談センター

どんな相談に応じてくれるの？

借金・取引上の問題・不動産・離婚・相続、その他の法律相談に応じます。

■ 不当に高額な商品を買わされた

訪問販売、クレジット、先物取引、欠陥商品などで困ったときなど、相談してください。

■ 借金が多すぎて払えない

クレジットやサラ金からの負債が増えて支払いきれない、取り立てが厳しくて困っているとき、一人で苦しまないで、相談してください。

■ 交通事故

交通事故の加害者あるいは被害者になってしまった、賠償金額について争いがある、保険会社と交渉でもめているなど、対処に困ったとき、ご相談下さい。

予約受付 月曜～金曜 午前9:00～午後5:00

☎ 073-422-5005 (和歌山弁護士会)

(紀南は相談日の前日、串本は相談日の前週の金曜日までに要予約)

相談日 紀南： 毎月第2金曜日 午後1:00～3:30
(1人30分) 串本： 毎週月曜日 午後1:00～3:30

(※休日の場合は翌火曜日)

相談場所 紀南： 那智勝浦町体育文化会館

串本： 串本町文化センター

相談担当弁護士 和歌山弁護士会所属弁護士

相談料 5,000円 (消費税は別途請求となります)

※相談者の方の収入・資産等によっては相談料が無料になることもあります。

※なお、相談に引き続き弁護士に事件を依頼される場合は、別途弁護士費用が必要となります。詳しくは相談担当弁護士にお尋ねください。

健診はお済みですか？

今年度の各種健診について、皆さんすでにお済みでしょうか？ お済みでない方は、配布されている検診申し込み表により、希望する健診実施日の2週間前までにお申し込みください。健診の日程は下記のとおりです。

日程	場所	内容
11月 21日 (水)	多目的センター	特定健診・健康増進健診(前立腺がん検診)・肝炎ウイルス検診 胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診 ※午前のみ実施

- ★検診の申し込みは、検診申し込み表により住民福祉課または健康づくり推進員までお申し込みください。
- ★「肺がん検診」の事前申し込みは必要ありません。受診を希望される方は上記の検診実施日にお越しください。
- ※検診の受診料は無料ですが、喀痰検査を受けられる場合は受診料 500 円が必要です。
- ★「特定健診・健康増進健診・肝炎ウイルス検診」は12月に、「子宮がん検診」は12月まで下記の実施医療機関でも受けられます。

● 健康づくり推進員

脊古 典子	平 見
山下 尚子	平 見
磯崎 多津子	大 東
庄司 和子	小東・寄子路
奥村 洋子	新屋敷
小畑 真里	水の浦
太田 卓子	暖 海
上中 佳苗	森 浦

○ 実施医療機関 ○

特定健診 健康増進健診 肝炎ウイルス検診	坂野 医院 漁野 医院
子宮がん検診	矢島産婦人科医院(新宮市) いずみウィメンズクリニック(新宮市)

認知症予防講演会を実施しました

9月20日に坂野医院院長の 坂野智洋 先生を講師にお迎えし、認知症予防講演会を開催しました。認知症サポート医の坂野先生から、認知症の症状や認知症の原因となる病気について、また、認知症の予防に関することなどについてのお話をいただきました。今回の講演会は、認知症について関心のある方など100名の方が参加されました。

★認知症の予防について(坂野智洋先生より)★

○脳を鍛えるということが大切です

- ・ いろいろな事に興味を持つ
- ・ ドリルなどで脳のトレーニングを行う
- ・ 散歩などをして日々の変化を確かめる
- ・ 自分でできることはする
- ・ 外に出る
- ・ 人と接する
- ・ 趣味を持つ

○アルツハイマー型の認知症以外では…

高血圧や高コレステロールなどの治療を行ったり、糖尿病等の他の病気をコントロールして、認知症の原因にもなる脳血管疾患を予防することが重要です。



<講演会後のアンケートにて寄せられた質問>

質問1. CTなどで頭の中を診てもらったら、認知症の可能性があるのかわかるのでしょうか？

回答1. CT等による脳の検査は、血液の状態や、脳に萎縮があるかどうかを調べることはできますが、あくまで補助的な診断です。診察や血液検査、認知機能のテスト等を行い、脳の機能が保たれているか、また、日常生活で支障が出ていないかどうかを総合的に判断して、認知症の診断を行います。

質問2. 介護認定調査について。日常生活が困難になってきているアルツハイマー型の認知症の方ですが、一見わかりにくい所があり、認定調査時は調査員への対応がスムーズにできるため、症状がわかってももらえません。

回答2. 認知症の方は、調査員の質問に対して、自分では難しいことなども「自分でできる」と答えることがあり、ご本人からの聞き取りだけでは日常生活上のことを十分に聞きとれないことがあります。認知症の方の場合は、できるだけご家族の方や介護職員の方が認定調査時に、普段の様子を調査員に伝えたほうがよいでしょう。その際は、なるべくご本人の目の前ではないところ(別室または電話など)で日頃の様子を伝えるなど、ご本人への配慮をしましょう。



『町報海外号』の「漁況」

"Fishing Report" in the Town's Newsletter, Abroad Edition

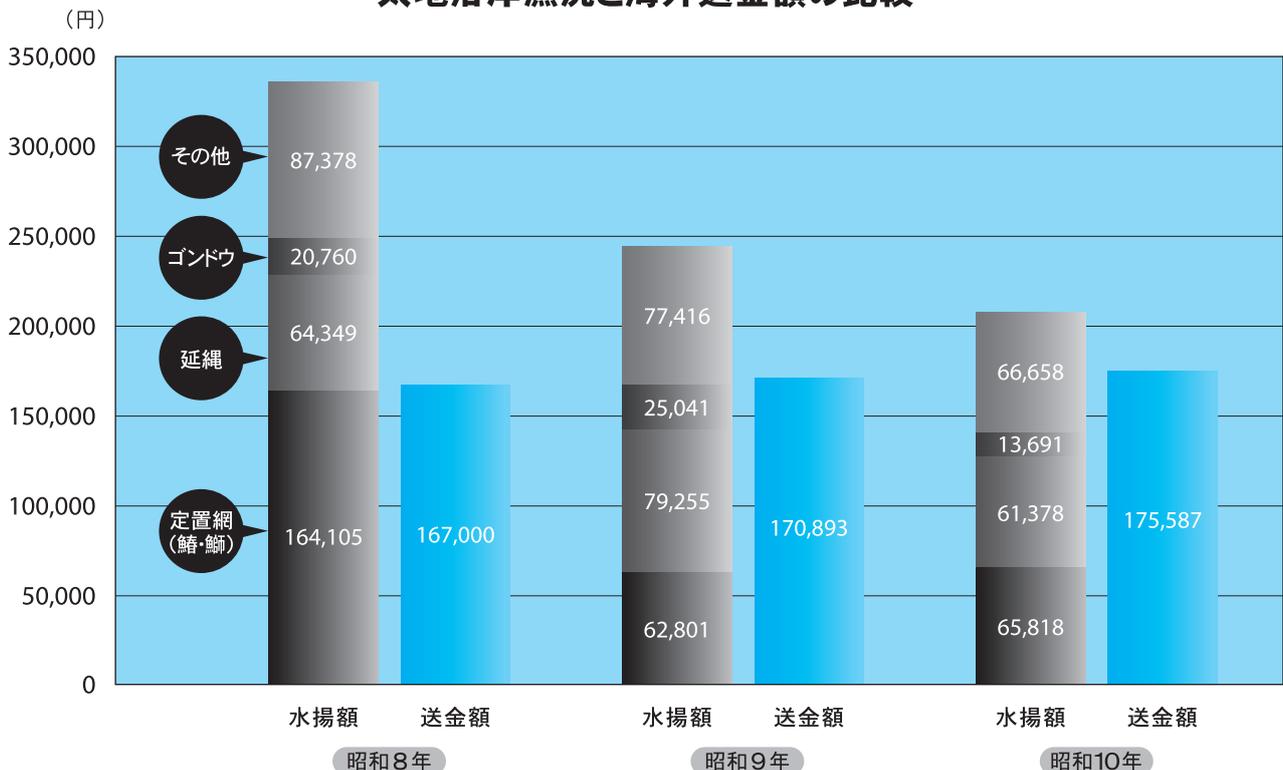
昭和3年7月から始まった月刊の『町報海外号』は、太地における新生児、死亡者、結婚した夫婦、火事や遭難事故、選挙、徴兵などの情報に加えて、ほとんど毎号欠かさず「漁況」を海外の読者に伝えていました。町内各戸向けの『町報』には「漁況」は掲載されていません。

「漁況」が解説したのは、太地沿岸における先月一か月間の漁業の概況でした。例えば昭和8年から10年の3年間の漁獲高の年間平均値を計算すると、水揚げ高がおよそ26万円になります。そのうち定置網で獲るブリとサワラの水揚げ高がおよそ9万8千円、延縄で獲るマグロとサメがおよそ6万8千円、テント船で獲るゴンドウがおよそ2万円、イセエビがおよそ1万5千円、その他が9万8千円となり、定置網による漁獲が最も大きかったことが分かります。

昭和10年には国勢調査が行われ、太地町の人口は3770人と計算されました。そのとき海外で暮らしていた太地出身の男性は399人、女性は150人、合計549人で、母村人口に比しておよそ一割五分ほどの人数になっています。男性に限れば二割を超えるでしょう。驚くべきは、故郷太地への送金額の高さです。アメリカからの送金額はおよそ13万円、カナダからおよそ1万5千円、オーストラリアから1万4千円となっています。太地沿岸の主要漁業であった定置網の水揚げ金額を超えるほどのお金が海外からもたらされていたのです。

昭和11年8月に発行された『町報海外号』第114号に「青年の海外進出」と題した文章があり、海外へ出稼ぎに出る人が多かった当時の町の様子を以下のように表現しています。「出稼が増加して中堅青年の大半が町内から姿を消した形で一面淋しい感じがいたしますが喜ぶべき現象です」

太地沿岸漁況と海外送金額の比較



◎先月号で『町報』の創刊は昭和元年と書きましたが、昭和2年の誤りです。訂正しお詫び申し上げます。



津波乗り越え、クジラたちが太地にやってきた!

10月18日(木)の朝、秋雨が降り注ぐ中、1台のトラックが太地にやってきました。トラックの中には、骨、骨、骨…。4トントラックの床一面に並べられた骨格標本の数々は、これまで財団法人日本鯨類研究所 鮎川実験場(宮城県石巻市鮎川)に保管されていたものです。よく見ると、骨の一部が大きく欠けていたり、ラベルが外れてしまったりしているものが目立ちます。実はこれらの標本は、去る2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災で津波の被害にあったクジラたちなのです。

皆さんもテレビのニュースや新聞などの報道で、「文化財レスキュー事業」という言葉を耳にされたことがおありかと思います。「東北地方太平洋沖地震によって被災した文化財等を緊急に保全するとともに、今後予想される損壊建物の撤去等に伴う我が国の貴重な文化財等の廃棄・散逸を防止すること」を目的に、文化庁が2011年3月に実施を決定したこの事業には、今でも多くの博物館や美術館の専門家や大学等の研究者らが参加されています。

被害を受けた資料の分類群は植物、哺乳類、昆虫などと多岐にわたるため、全国の博物館や研究機関に受入れを依頼し、受入れが決まった資料たちはそれぞれの専門家の手によって標本としての機能を取り戻すための作業を施されます。海水やヘドロ状の土砂に浸かってしまった資料を一つ一つ洗浄して塩害から資料を守るだけでなく、カビなどの発生を防ぐための乾燥や除菌作業、ラベルを紛失してしまった標本の同定作業、壊れてしまった標本の復元作業など作業量は想像を絶するものです。6名の職員の方が全て死亡または行方不明となられた岩手県の陸前高田市立博物館では、学術的に高い価値をもつ資料を豊富に収蔵されていたため、岩手県立博物館を中心に汚れのひどい約7,500点の植物標本を全国19都道府県29の博物館・研究施設へ、約14,000点の昆虫標本を全国13都道府県19の博物館・研究施設へ送り、洗浄・復元作業を今も続けておられます。



さて、今回鮎川実験場から太地にやってきたクジラの頭骨(ミンククジラ(北太平洋)13個体、ドワーフミンククジラ(南氷洋)5個体、クロミンククジラ(南氷洋)1個体、ツチクジラ1個体)もこのような経緯を経て救済されました。鮎川港近くの建物に保管されていたため損傷の大きい同所で保管することができず、保管場所を探されていたところ、当館が預かりうけることになったのです。今のところ、展示の予定はなく収蔵庫に保管されることとなりますが、ミンククジラ、ドワーフミンククジラ、クロミンククジラという3種類のミンククジラの頭骨を比較研究できる場所として、有効活用できればと思います。

このように価値のある資料も、予期せぬ災害によって、ある日突然紛失したり破損したりすることがあります。博物館に働く私たちは、そのことを常に頭に置いておかななくてはなりません。必ずおこるといわれる地震などの災害に日々備え、人命の救助はもちろんのこと、標本や文化財の救助も連携だて行うことができるように準備しておかななくてはならないと思うのです。今回の大震災は多くの深い傷跡を残しましたが、一方で私たちに資料を後世に伝えていく上で重要なことをたくさん教えてくれたように感じます。これらの教訓を活かして博物館や美術館等における資料保管に対する考え方が見直されることを期待しています。



■文化財レスキュー事業について

http://www.bunka.go.jp/bunkazai/tohokujishin_kanren/pdf/bunkazai_rescue_jigyo_ver04.pdf (2012年10月24日確認)

■旧日本鯨類研究所におけるレスキューの様子

http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/truetop/topic12_21.html (2012年10月24日確認)

《保健衛生関係 11 月行事予定》

子育て支援関係

月 日	事業名	時間	場所
11月 1日 (木)	ちびっ子ひろば	10:00～11:00	ふれあいルーム
11月 8日 (木)			
11月 15日 (木)			
11月 22日 (木)			

健康相談

月 日	事業名	時間	場所
11月 7日 (水)	乳幼児健康相談	10:00～11:30	多目的センター
11月 12日 (月)	成人健康相談 (血圧測定)	10:30～11:30	公民館
		13:00～13:30	平見集会所
		14:00～15:00	老人憩いの家
11月 26日 (月)	成人健康相談 (血圧測定)	15:00～15:30	森浦集会所

健診

月 日	事業名	時間	場所
11月 1日 (木)	10か月児健診	13:00～13:10 (受付)	那智勝浦町健康福祉センター
11月 21日 (水)	特定・健増・胃・大腸・胸検診	8:30～9:30 (受付)	多目的センター
11月 22日 (木)	4か月児健診	13:00～13:10 (受付)	那智勝浦町健康福祉センター

健康教育

月 日	事業名	時間	場所
11月 14日 (水)	妊婦教室	13:30～15:30	公民館
11月 18日 (日)	パパママ教室	13:30～15:30	公民館
11月 5日 (月)	なかよし体操	13:30～15:00	東新集会所
11月 19日 (月)			
11月 12日 (月)			森浦集会所
11月 26日 (月)			

—白馬からお便り— 【姉妹都市「白馬村」コーナー】



10月に入りいよいよ白馬も秋本番になりました。
この時期は空気の澄んだ朝の空に映える山々もよいのですが、太陽が沈んだ直後の少し霞がかつた空に映える山もまた趣があります。
写真は10月16日の日没直後の五竜岳です。まさに「山の端」が空と大地を隔てる様子が見え冬の足音が聞こえる直前の秋の情景を見せていました。

秋本番

住民基本台帳
(平成24年9月末日現在)
総人口 3,398人
男 1,545人
女 1,853人
世帯数 1,657世帯
(前月比: 総人口 1人増
世帯数 2世帯減)

～お食事のご案内～

- ※ 昼食 11時～14時
- ※ 夕食 17時～19時30分
- ※ 宴会・折詰・弁当・おまぜ等

お気軽に御利用ください

国民宿舎 白鯨
TEL 59-2323

